

関西圏大学有志の会が共同集会 6.26 関学上ヶ原

事務局・岩佐卓也神戸大学准教授にインタビュー

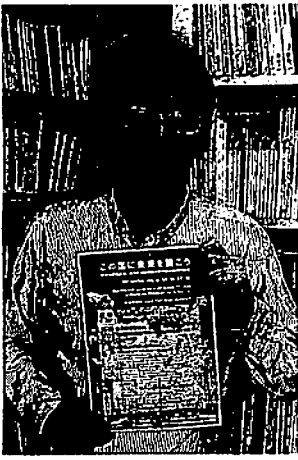
関西圏の21大学の安全保障関連法に反対する有志の会が共同して6月26日、関西学院大学上ヶ原キャンパスで「この国に未来を築こう——安全保障関連法に反対する関西圏大学有志の会共同集会」を開く(別掲)。この集会を主催する実行委員会の事務局を担当しているのが神戸大学の岩佐卓也准教授。昨年夏、安全保障関連法に反対して、神戸大学で集会を呼びかけ、「神戸大学平和フォーラム」の結成に尽力された方だ。今回の集会開催の経緯や意義などについてお話を伺った。

【編集部】

まず去年のことから話すと、安全保障関連法に反対している人々で「有志の会」ができた。別にどこから指示があったわけではなく、それぞれ

の自発的な取り組みとして始まった。会の結成、集会の開催、由明の発表など、一気に広がった。まさか自分が神戸大学でやることになると思っ

岩佐卓也さん



ていなかったが、神戸大学でも集会を呼びかけたところ、200人ほど人々が集まった。各大学の運動はその後さらに広がった。これほど運動が広がることは予想していなかった。

もちろん、根本には法案があまりにひどいというところがあるが、今の大学の置かれた位置を考えるとこの運動にはたいへん意義がある。

実は、いま全国の大学は試練にさらされていて危機にあると言っても過言ではない。「世界大学ランキング」のなかでとれたけ高い位置に登るかが各大学の最優先の目標にされている。予算配分

にも影響している。各大学は「生き残りのための改革」を次々とやらなくてはならない。それは学生や社会のためにという観点ではなく、学生や教職員それぞれの断行され、また大学同士、学部同士、教員同士が競争をせられている。学問の自由や大学の自治などというものはますます監視、無視されている。

そのような中で昨年の各大学の安保反対運動が出てきたことに、また大学は生きていくと感じた。批判的な知性・良心の拠り所として自分たちが社会に対して発言していく意味は非常に大きいと思っ

ている。この中でできたネットワークをいへるという動きは、昨年末、12月19日に各大学の有志の会が共同して大阪で集会を開催したことから始まった。

安保法案は通ってしまったが、それで終わりではなく、そのあと各大学で運動が継続していった。神戸大学では「神戸大学平和フォーラム」を

結成し、安保法制の廃止へむけた新年会や学習会などを開いてきた。各大学の有志の会の活動はさまざま、学習会を頻繁に開いているところもある。個人中心で活動しているところもある。学生を組織しているところもある。運動の形はさまざまだが、安保法制反対の声を絶やまず、大きくしていこうと、それぞれ頑張っている。

関西の中でネットワークをいへるという動きは、昨年末、12月19日に各大学の有志の会が共同して大阪で集会を開催したことから始まった。

関西圏の21大学の安全保障関連法に反対する有志の会が共同して6月26日、関西学院大学上ヶ原キャンパスで「この国に未来を築こう——安全保障関連法に反対する関西圏大学有志の会共同集会」を開く(別掲)。この集会を主催する実行委員会の事務局を担当しているのが神戸大学の岩佐卓也准教授。昨年夏、安全保障関連法に反対して、神戸大学で集会を呼びかけ、「神戸大学平和フォーラム」の結成に尽力された方だ。今回の集会開催の経緯や意義などについてお話を伺った。

批判的知性と良心の拠点として

この国に未来を築こう——安全保障関連法に反対する関西圏大学有志の会共同集会

- 6月26日(日) 13:30~17:30
- 関西学院大学上ヶ原キャンパスG号館101教室(阪急電鉄今津線甲東園駅よりバス5分、徒歩12分)
- 集会内容: 第1部: 講演『永統敗戦レジーム』を終わらせよう! 白井聡さん(京都精華大学専任講師) / 第2部: 各大学有志の会、安全保障関連法に反対するママと有志の会@兵庫ほか リレートーク
- 主催: 「この国に未来を築こう」実行委員会(共催: 21大学有志の会)
- 連絡先: 岩佐卓也(神戸大学) iwasa@kobe-u.ac.jp